

広島大学学術情報リポジトリ
Hiroshima University Institutional Repository

Title	故古浦敏生先生を偲んで
Author(s)	石岡, 精三
Citation	プロピレア , 23 : 3 - 3
Issue Date	2017-08-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00044332
Right	Copyright (c) 2017 日本ギリシア語ギリシア文学会
Relation	



故古浦敏生先生を偲んで

石岡 精三

長岡技術科学大学語学センター准教授

古浦 敏生先生，謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ロマンス語学会でお目にかかることを楽しみにしていた矢先に先生の悲報に接し，驚き呆然とした次第です。同時に誠に残念でもありました。ロマンス学会でのイタリア語についての研究発表を先生にもお聞き願ひ，ご指導をいただくつもりでいましたので。

先生に初めてお目にかかったのは，私が言語学専攻に転専攻を考えていた頃でした。当時言語学教室の助手でいらした先生に，いろいろなことをお尋ねした記憶があります。先生のご丁寧なお答えもあり，私は言語学を専攻する決心をいたしました。

私がロマンス語を研究するきっかけになったのは，Dante の「神曲」と Vergilius の「アエネイス」の講義だったと思っています。先生の緻密な「読み」の方法論と詳細にわたる言語学的解説は大きな刺激であり，私の研究の原点となりました。講義での先生のやさしく穏やかな物腰も思い出されます。これまで先生のような講義をしようと努めて参りましたが，まだまだほど遠いようです。

数年前，先生はこれまでの研究をまとめることも必要だにご教示下さいました。まだこの教えにお応えできていないのが，残念でなりません。ロマンス語で調べていたことをギリシア語，ハンガリー語，ブルガリア語などで検証し，興味が拡散しているのが現状です。不肖の弟子とお許し下さい。

先生のご功績に敬意を表し，改めてご冥福をお祈りする次第です。

In campo Elysio fruatur animus mei magistri venerandissimi.